

品番	H	S	M ₁	D	L	W	R	A	H ₂	M	H ₁	P
BJ352-05001	24	5	M 5×0.8 深さ 8	10	52	25	40	14	14	M4	19	15
BJ352-06001	29	6	M 6×1 深さ10	12	58	30	50	16	18	M5	22	18
BJ352-08001	37	8	M 8×1.25深さ15	16	75	38	63	19	23	M6	25	24
BJ352-10001	42	10	M10×1.5 深さ15	19	85	45	80	24	26	M8	30	28

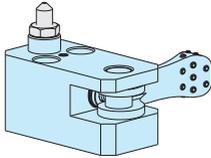
品番	L ₁	L ₂	L ₃	カムレバー (P.186参照)	レバー荷重 (N) 注1)	保持力 (kN)	持上力 (N) 注2)	ロック機構	質量 (g)	価格
BJ352-05001	36	8	8	QLCA-04	80	0.5	0~6	スパイラルカム カム角度4°	213	13,000
BJ352-06001	39	9.5	10	QLCA-05	100	0.7	0~6		335	14,000
BJ352-08001	51	12	12	QLCA-06	150	0.9	0~7		738	16,000
BJ352-10001	56	14.5	15	QLCA-08	200	1.2	1~11		1110	19,000

注1)レバーに掛けられる許容荷重です。

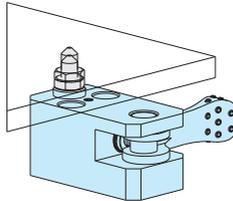
注2)持上力とは、バネがシャフトを持上げる力です。

使用例・使用方法

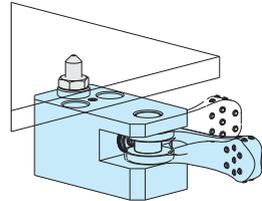
■操作手順



①アンロック位置
アンロック位置の状態で作ークの着脱を行います。

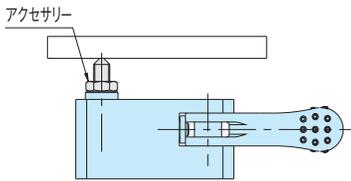


②ワークのセッティング
ワークをセッティングするとシャフトがサポーターの高さまで沈み込みます。



③クランプ
レバーを回しシャフトをロックします。

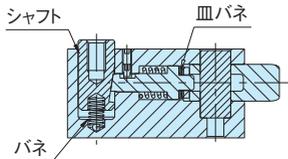
■レバーロック位置の調整



ボディからシャフトの突き出し量がストローク S の 1/2 のとき、レバーは推奨ロック位置となります。この状態で、アクセサリがワークに当たる様に設計してください。

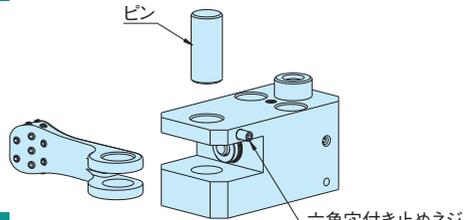
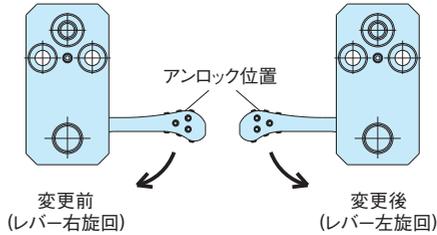
特長

皿バネ内蔵による緩み防止機能付き。



■レバーの旋回方向の変更

レバー旋回方向の変更は、六角穴付き止めネジを緩め、ピンを取外し、レバーを上下反対にして再び組付けてください。



注意事項

シャフトのメネジへアクセサリを取付ける時は、破損防止の為、シャフトを固定(保持状態)にして行ってください。